

巻 頭 言

インターナショナルオフィス長 徳 田 雅 明

平成21年4月に発足した、香川大学インターナショナルオフィス（Kagawa University International Office：KUIO）は、留学生センターと国際研究支援センターからなり、留学生の受け入れや日本人学生の派遣の推進、国際共同研究の推進、地域の国際活動の推進などに関わる業務を担当しています。

香川大学では、第3期中期目標・中期計画（平成28年度～平成33年度の6年間）において大幅な大学改革を実施し、地域に根差した学生中心の大学を目指していますが、そのキーワードのひとつが「グローバル化」です。香川大学で学ぶ学生たちが多くの国の人たちと協働できるよう、異文化理解を深め、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高める学習や環境を提供します。

平成25年にスタートし、平成35年までに、年間の留学生受け入れ400人、日本人の中長期（3か月以上）派遣者100人を旨す「4アンド1プラン」はグローバル化を象徴した目標です。平成25年度の受け入れ留学生数は243人でしたが、平成27年度には267人となり、平成28年10月1日現在で247人と順調に増加しています。また、日本人学生の海外派遣は、短期派遣も含めると平成25年度で239人（うち3か月以上17人）でしたが、平成27年度には281人（同42人）と順調に増加しつつあります。

留学生と日常に交流でき、海外に出ていく魅力を感じ、海外学習の敷居を低くできるようなキャンパス環境作りも大切です。平成26年6月に幸町キャンパスに完成したオリーブスクエア2階にオープンしたイングリッシュカフェは、留学生や日本人学生が集いネイティブ教員の協力・指導のもと自主的に英語などの外国語でのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高めることに役立っています。毎日多くの多国籍の学生たちが集っています。今後ますますキャンパスのグローバル化を推進していく予定です。

香川大学では、国際的な教育活動や研究活動、国際貢献活動やボランティア活動、地域との国際活動など、多種多様な活動を行っており、香川大学インターナショナルオフィスはそうした活動を支援し、協力して実践しています。こうした国際的な活動を学外の方々に発信し、知っていただくことは非常に重要です。本年報は、我々が関連する活動全般についてとりまとめて毎年発刊しています。今回は平成27年度（2015年度）の活動をご紹介します。是非ご一読いただきご理解いただくとともに、ご意見やご助言を頂戴できれば幸いです。

末筆ながら、日頃より我々の活動にご協力いただいております、団体・個人各位に厚く御礼申し上げます。今後とも引き続きご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。